

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

12

発行：平成 29 年 12 月 15 日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信 December 2017

■平成29年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 **福田 通拓**
株式会社 インテリア
フクタ

寒さがひとしお身に染みる季節になり、暦の上では「大雪」を過ぎました。山の峰々は雪をかぶり、平野部にも雪が降るころです。10カ月前の今年2月には記録的な「大雪」となり、日常生活にも大きな支障をきたしたことが昨日のことのようです。早いもので今年もあとわずかとりました。

さて、11月には鳥取単会主管で鳥取県3単会の合同例会を開催いたしました。この合同例会は鳥取・倉吉・米子の単会を持ち回り、各単会の活性化と交流を目的に毎年開催しております。特に今年度は県連創立25周年という記念すべき年ということもあり、米子・倉吉からも多くの会員が集いました。合同例会の特別講演では現役YEG会員でもある伊木隆司米子市長をお招きし、「街づくりとYEGの役割」についてお話しいただきました。同じ年代で、同じ会の仲間である市長の言葉は会員にとつて大きな励みになりました。現在、鳥取県内には3単会しかありませんが、これからの鳥取県の商業発展のために、この3単会で協力し合い刺激を与え合うことが必要です。今後、ますます絆を深め大きな原動力に成長させていくことを確認して合同例会を閉じました。

また、10月には星取県の滞在型事業の取り組みとしてグランピング(グラマラスなキャンプ)を企画運営しました。グランピングとは、テント内にベッドや照明を備え、キャンプ場のサービスを高級ホテル並みにしたキャンプです。山陰の松島と言われる海のロケーションに豪華なテントを張り、そして「アルマール」レストランでの豪華な食事に「アフリサイタル」と夢のような世界を東浜海岸に設けました。県外からも9組32名の方に参加していただき、来られて早々設営された海岸を見て「日本じゃないみたい

い」と言われた言葉が忘れられません。当日は、参加者の皆さんのご協力によりSNSを使い、「鳥取の魅力」を全世界に発信していただきました。この魅力は、トランプ米大統領にも届いたことでしょう。グランピング事業の開催により鳥取には県外の方を魅了する景観と食材があることを改めて実感いたしました。これからも継続して鳥取の四季折々の素晴らしさを発見し、発信に取り組みます。

また、11月には日本初の強肩王選手権を開催しました。湖山池湖畔を会場に、県内外から参加者が集い、Aボールの遠投を通じて鳥取ににぎわいと交流の場をつくらうと提言提案委員会が取り組みました。プロ野球の選手が外野に飛んだボールをピンポイントでキャッチャーに投げランナーをアウトにするシーンを見るととても興奮します。まさしく強肩は野球ファンを魅了するプレーの一つです。優勝者はプロ野球選手並みの104mを記録しました。これから先、全国強肩王決定戦がこの鳥取の地で開催されるのも夢ではありません。想像するだけで心と肩が弾んでまいります。

11月7日にはサッポロビールから星取県ラベル缶ビールが発売されました。

ご存知のとおり、北の大地「北海道」は、鳥取県からも明治時代には多くの入植者が移住、開拓され、現在でも鳥取の地名が道内には数多く残っています。鳥取と縁深い地で創業され、「星」のマークでおなじみのサッポロビール北海道本社を今年2月に英副会頭と発案者の牧浦直前会長が訪問、幾度の協議のうえ今回の発売に結びつきました。全国最少人口県である鳥取県にとりまして「企業ブランド」・「シンボルマーク」・「ビール」・「オリジナルラベル」・このキーワードを「星取県」に活用させていただくことは大きな発信となり、鳥取の星の美しさを国内外の皆さまに楽しんでもいただけたことと思えます。「会員が考えたことが大手企業を動かして現実となる」本当に夢のようなことですが、成し遂げることができました。これは私たちYEG会員にとりまして大きな自信に繋がりました。

一年間皆さまには過大なるご支援、ご協力をいただきました大変感謝しております。鳥取商工会議所青年部は来年も「鳥取の経済のため、鳥取の地域活性化のため」に頑張つてまいります。変わらぬご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

第35回 中国ブロック大会 三次大会に参加しました!

9月30日(土)に開催された「中国ブロック三次大会」鳥取YEGとしては85名以上の登録となりました。広島県立みよし公園にて記念式典に参加した後、私は登録しておりました分科会に参加のため、MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島に向かいました。ご存じの通り広島東洋カープの本拠地であり、広島市民球場から移転した後の大幅な観客動員数・売上高の増加を果たした要因を探るといふ趣旨の分科会。私自身は野球ファンではありませんが、近年話題の力一Pの魅力を知りたくて参加しましたが、シーズン終了直後の熱気がまだ残るスタジアムと通常足を踏み入れることのできないレアな場所の見学もあり、お客さまを感動させる工夫の数々、来年はぜひとも応援にきたい、と思つてしまいました。スタジアムの前で結婚式の前撮りを行うユニフォームを着た新郎新婦・家族が複数組撮影されていて、人生の門出に訪れる市民に愛される球団であることを目の当たりにし、地域活性とは市民、県民が地元を愛することが根幹にあるべきだと強く感じた分科会でした。見学後はみよし公園に戻り、大懇親会に参加。「巴」流れ集いてひとすじに「」をテーマに掲げられた心のこもったしつらえに感動いたしました。三次YEGメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

専務理事
石畑 美幸



参加した鳥取YEGメンバー

鳥取県商工会議所青年部連合会 合同例会・25周年記念祝賀会

日時 平成29年11月18日(土) 16:30～19:00
場所 とりきん文化会館第1会議室 / ホテルモナーク鳥取



牧浦 県連会長

このたび、平成4年に設立された当会が25年という節目を迎えることができました。これも偏に鳥取県の商工業を牽引されてきた諸先輩方、ならびに関係者皆さま方の多大なご尽力の賜物かと存じます。心より厚く御礼申し上げます。鳥取県連は341名の会員が県内所属単会にてさまざまな活動しております。人口最少県の県連ですから、日本一小さな県連でもありますが、会員一人一人が熱意と勇気、そして目的意識を持ち、「信念は不可能を可能にする」と信じ活動し、星の輝きとともに日本一輝く県連をめざしております。

今年度は、鳥取県代表理事として日本商工会議所に出向し、毎月全国各地で活動させていただいておりますが、行く先々から帰鳥するたびに安堵する自分がつきます。鳥取の方言で自然に喋り、山海の食を楽しむこと。普段の生活で日常となっていることが鳥取の大きな魅力と感じます。鳥取から1時間の飛行で行ける東京のように商業施設や交通機関も発達していません。東京や都会にない「何か」を発掘、発見、発信、創造していくことも、会議所青年部の大きな役割ではないでしょうか。

また、25年前では考えられないネットショップや大手県外資本の進出が見られ、県内の多種多様な業種で、流入人口の拡大や利便性が向上する一方、地元企業との過当競争も激化しております。明治11年、渋沢栄一翁、他7名の発起人により設立された商工会議所(商法会議所)のスケールメリットを生かし、地域企業が力を合わせ地域経済の循環を図ることも青年部会員の大切な活動として取り組んでいかなくてはなりません。結びにあたり古代中国では、貴族の子弟の学問に、木や草の苗を地面に植えることを意味する漢字の「藝」という教養科目があったそうです。土に何かを植えるように人の心に何かを芽生えさせ、花を咲かせ心の中で豊かに実り大きな収穫を得ると言われています。青年経済人として『藝』という漢字を念頭に、現代社会において生活する私たち会員も大きなテーマとして取り組みたいと思います。

今後とも県連諸先輩の皆さまと同様に、自身のため、自企業の発展のため、ひいては地域経済発展のために活動してまいりますので今後とも、ご支援を賜りますようお願いいたします。

鳥取県商工会議所青年部連合会

会長 牧浦 健泰



鳥取県知事 平井伸治様



祝賀会記念撮影



米子市市長 伊木隆司様

グランピング☆スターツアー 「東浜ビーチテラス」開催

企画運営委員会では、鳥取YEGが進めてきた「星取県」PRの次のステップとして「星がきれいなこと」を「滞在型観光」につなげるにはどうすればいいかを検討し、その一つとして星鑑賞と宿泊体験をセットにしたグランピングイベントを開催しました(グランピングは快適でおしゃれなキャンプ)。

東浜海岸という鳥取屈指のロケーションで、星空鑑賞はもちろん、ジャズリサイタルやビーチバー、アルマーレのディナーなど参加者が思わず発信したくなるようなコンテンツを用意して、参加者自身の発信により鳥取の魅力を拡散することも狙いました。

理事会を通じてから1カ月半という非常にタイトなスケジュールでしたが、「星取県」をきっかけに県外からの参加者に鳥取を楽しんでいただく、鳥取のファンを増やしたい、その一心で委員会メンバー一丸となつて取り組みました。

10月14、15日の本番では県外から宿泊32名と地元から日帰り37名の総勢69名の参加がありました。県外からの参加者からは「すごい!日本じゃないみたい!」などと歓声が上がりました。夕方から夜にかけてあじうく曇り空になり砂浜に寝転がっての星空鑑賞は中止、屋内でのスクリーン上映となりましたが、参加者からはぜひ来年も参加したいとのリクエストを多数頂戴しました。

プロデュース次第で、「星&鳥取」が県外から人を呼ぶのに十分な素材であることが確認できました。来年はさらにスケールアップして鳥取YEGを代表する事業にできればと思います。

企画運営委員会

委員長 中井 史生



YEGメンバーとアルマーレのスタッフ



東浜海岸に張られたテント群

新入会員



森田 晃正 君
(もりた てるまさ)

事業所名 (株)Torilabo
所属委員会 まち興し委員会



石原 優貴 君
(いしはら ゆうき)

事業所名 鳥取通信工業(株)
所属委員会 提言提案委員会



喜多 靖 君
(きた やすし)

事業所名 (株)HoNaNe
所属委員会 提言提案委員会